

Shuei walker

～国土地理院～
地図と測定の科学館

地図と測定の科学館では、地図や測量に関する歴史、原理や仕組み、新しい技術などを総合的に展示しています。

今回は伊能忠敬の日本地図、測量用航空機「くにかぜ」、触地図について紹介します。

坂本翔太(伊奈)



地図と測定の科学館
〒305-0811
住所: 茨城県つくば市北郷1番
国土交通省 国土地理院
電話番号: 029-864-1872
入館料: 無料
開館時間: 9:30～16:30
休館日: 毎週月曜日(祝日の時は順次翌日)、
年末年始(12/28から1/3)

伊能忠敬が使用した 測量機材(一部抜粋)



↑半円方位盤
遠方の目標となる山岳、岬などの方位を精密に測るために使われました。



↑小象限儀
道や土地の勾配を測るために使われました。

伊能忠敬(1745年～1818年)
1794年(寛政6年)の隠居後、天文学の高橋至時(たかはしよしとき)の門弟として天文学を学び、1800年(寛政12年)北海道の測量を手はじめに、17年間にわたって日本全国の測量を成し遂げました。

→「大日本沿海輿地全図は、伊能忠敬が製作した初めての日本地図です。伊能忠敬は、さまざまな機材を使い測量をし、この地図を作りました。



触地図は、視覚障害者が触覚により空間認知を行うためのものです。(左右)の写真から分かるように地図に凹凸があり、凹凸を触ることによって道路や建物、地形などが把握できます。

地図と測定の科学館の大本の組織である国土地理院では、触地図を3Dプリンターで作るためのデータを配布するなどの取り組みがなされています。

↓測量用航空機「くにかぜ1号機」
1960年から1983年まで、日本列島の航空写真を撮っていました。

撮影は職人技
「くにかぜ」に搭載されたカメラでの撮影についてですが、現在はデータをコンピュータに入力すれば自動的にデジタルカメラで撮影を行うことができます。しかし、当時はすべてフィルムによる航空カメラの撮影でした。撮影計画に基づきパイロットと撮影士が連携して手動で撮影を行っていたそうです。撮影の技術には、高度な技術が必要になります。



「くにかぜ」の飛行距離は約223,000km(地球を5周半分だそうです)
「くにかぜ」は、初代「くにかぜ」のあと「くにかぜII」に引き継がれ、現在は三代目になる「くにかぜIII」が国土の変化の把握、保全・管理のための空中写真撮影、災害時における迅速な被災状況把握のための緊急撮影等を行っています。

ベストを尽くした！ スポーツ大会 総合優勝 3-7

このメンバーで、スポーツ大会のためにトレーニングを積んできて2年目。私達はやっとその成果を発揮することが出来ました。1日に何十回もの円陣を組み、お互いを高め合い、スポクラならではのチームワークで優勝を勝ち取りました。私達は「2位になるためにやっていたんじゃない」
3年7組 和田 悠稀(美野里)

11月9日にスポーツ大会が行われました。天気はあいにくの曇りで肌寒いくらいでしたが、寒さを吹き飛ばすほどの熱い戦いが繰り広げられました。どのクラスも日頃練習してきた成果が十分に発揮されていました。
鈴木菜湖(大穂) 山本有紗(城ノ内)



ドッジボール

このスポーツ大会を通して去年よりもクラスの団結力や絆がさらに深まったと思います。また、クラスの中で1つのいい思い出を作ることが出来たので良かったです。
2年8組 鈴木 大樹(猿島)

2-8

バレーボール 3-6

高校生活最後のスポーツ大会を2年連続バレー優勝という結果で終わることが出来て良かったです。また、クラス一丸となって練習に励むなど、とてもいい思い出が出来ました。
3年6組 神矢 朋実(鬼怒)



長縄跳 3-1



僕はまさか自分のクラスが優勝出来るとは、思っていませんでした。と言うのも、5分という長い時間で、後半足がもたなくなるという課題と、芝グラウンドでほとんど練習できなくて、実戦感覚がありませんでした。しかし、当日は雨で体育館に変更になり、しかも3分という短い時間に変更されたことで、今回のような結果を出すことができたのだと思います。
3年1組 亀田 振平(吾妻)

今では
当たり前だが…
スポーツ大会や
運動会の歴史について

明治7年、東京築地の海軍兵学校で開催されたのが最初の運動会と言われています。当時は運動会とは言わず競闘遊戯(きそいあそび)と言いました。当時の日本ではイギリス海軍式教育を導入しており、外国人講師のダグラス氏の発案により運動会が開催されたそうです。
昔の学校における運動会開催の目的は意味合いが今と違いました。明治時代は遊びにもなる基礎訓練の1つとして導入され、その狙いは当然優秀な兵士育成のためだったそうです。



生徒会新聞
Vol. 6
H30.12.13
つくば秀英高等学校
生徒会発行

生徒会発行
「秀花新聞」
全国高等学校総文祭
新聞の部6年連続出場

新聞記事の
ネタ募集中心！
新聞ボランティア
募集中！

INDEX

- 1面
・ベストを尽くした！スポーツ大会
- 2面
・貫き通した「執念」～ボカリスエストエールキャラバン～
- ・ラグビー部～花園予選準優勝～
- ・少林拳法部全国・関東選抜大会出場！！
- ・編集者のコラム
- 3面
・世界の枠を超えて～ブラジル人学校との交流会～
- ・読みたくなる一冊を紹介
- 1学年読書プレゼン発表会
- ・柔道部 茨城県新人戦団体優勝 個人戦2階級制覇
- 4面
・Shuei walker ～国土地理院～地図と測定の科学館

※記事内の()は(出身中学校)になります。

貫き通した「執念」

～ポカリスエットエールキャラバン～

10月26日、本校で「ポカリスエットエールキャラバン」が行われました。本講演では、柔道史上初のオリンピック三連覇を成し遂げた柔道家の野村忠宏さんにお越しいただき、ご自身の掲げる『執念』の二文字を基に、私たちに熱いエールを届けてくださいました。

大里 翠音(関城) 岡本郁哉(土浦二)



野村 忠宏さん

1974年12月生まれ
1996年アトランタオリンピックで金メダルを獲得。その後、シドニー、アテネ五輪でも金メダルを獲得。史上初のオリンピック三連覇を成し遂げた。
引退後は指導者として活躍。

野村さんはだれもが向き合う限界について、「限界を知った人間は、もう無理だと諦めるか、もう一度歯を食いしばってやるかの二つに分かれる。限界と思ったところからどれたけ歯を食いしばってできるか、そこが重要。」とおっしゃっていました。

「好きなものに会えるまで、才能が開花するまで、諦めずに続けることが大事なんです。」

多くの挫折を経験した野村さんだからその『執念』のエールがしっかりと生徒たちの胸に届きました。



講演後、本校柔道部への指導を行っていただきました。金メダリストからの指導という貴重な機会に、部員たちもいつも以上に真剣な眼差しで練習に励んでいました。



少林寺拳法部全国・関東選抜大会出場!

全国・関東大会茨城予選会が、茨城県武道館で開催されました。顧問の菊池先生のご指導の元、日々の練習を行った結果、中泉蓮(牛久三)が男子単独演武の部で全国大会への進出を決めました。

島野まはろ(境一)



～中泉君から大会の結果と感想～

結果は、1、2位と同点の3位と振るいませんでしたが、関東大会と全国大会は、出場が決定しました。練習での自分の甘さが結果に出た大会だと思えます。次回の大会は、今回の大会の反省点を活かして全力で勝ちに行きたいと思えます。

ラグビー部～花園予選準優勝～

11月18日にラグビー部が全国大会茨城県予選(花園予選)に出場し、準優勝という素晴らしい結果を残しました。惜しくも優勝は逃してしまいましたが、大地を揺さぶるようなプレーで会場を沸かせました。

中山友貴(石下)



大会の感想

三年間の集大成となる大会で12年ぶりに決勝という地に立てて、とてもうれしかったです。果No.1を目指していましたが、結果は準優勝でした。最後まで自分達らしい明るく楽しいラグビーを突き通せてよかったです。学校や保護者の応援もとても励みになりました。ありがとうございました。

主将 須藤虎治郎(谷田部)

吉峰綾香(竹園東)

三年間の集大成となる大会で12年ぶりに決勝という地に立てて、とてもうれしかったです。果No.1を目指していましたが、結果は準優勝でした。最後まで自分達らしい明るく楽しいラグビーを突き通せてよかったです。学校や保護者の応援もとても励みになりました。ありがとうございました。

編集者のコラム

世界の枠を超えて

～ブラジル人学校との交流会～

ブラジル人学校に通っている方たちとバレーボールやドッジボールなどの運動をして汗を流しました。失敗しても、やさしく微笑んで改善点を教えるなど、終始穏やかに時間が過ぎました。また、運動競技が終わった後は、グループディスカッションがありました。

互いに自己紹介をし、自分の趣味や自国の文化について紹介し合っていました。中には、お互いに趣味が合って話が大変盛り上がりつつあるところもありました。

ブラジルの公用語はポルトガル語です。エスコラオプシオンの学生たちは、私たちと同じように第二の言語として英語を習っています。今回の交流会の目的は、お互いの英語力を高めることでした。参加者全員が、英語でコミュニケーションをとろうと積極的に会話していました。

中山友貴(石下)



バレーボールの様子勝ち負けを気にせず、交流として楽しんでいました。いろいろな珍プレーが起き、笑いがあちこちで上がっていました。

柔道部 茨城県新人戦 団体優勝 個人戦2階級制覇

11月8日、16日に開催された茨城県新人柔道大会で、団体戦、個人73kg級 旭 征哉、個人100kg超級 村岡 英哉が優勝しました。

激戦を制した選手たちに大会の感想と次の大会への意気込みを聞きました。

中山友貴(石下)



個団体メンバー①大会の感想 ②次の大会への意気込み

- 1年8組 小林 朝海(堀船)下段左
 - ①2回戦では投げて勝つことができなかったため、1勝勝ちをして良い流れで次の人に繋げたいです。
 - ②投げて勝てる力をつけたいです。
- 2年8組 小林 照海(堀船)下段中央
 - ①個人では準決勝で負けてしまったが、団体では優勝できて良かった。
 - ②個人優勝、団体大連覇を目指したい。
- 1年8組 志村 流太(明桜)下段右
 - ①団体戦では一回引き分けてしまったので、次はすべて勝ちたいです。
 - ②皆で助け合いながら頑張りたいです。
- 1年8組 窪田 魁空斗(上田一)上段右
 - ①二連覇できてよかったです。個人戦は内容が悪く準優勝だったので、選手権大会では全国に出られるようにしたい。
 - ②Do my best!

11月17日にエスコラ・オプシオンブラジル人学校との交流会が行われました。バレーボールやドッジボールなどで汗を流し、運動後には、お菓子を食べながら、日本語と英語を交えた会話をし、和気藹々と交流することができました。



読みたくなる一冊を紹介

1学年読書プレゼン発表会

11月10日に1年生の読書プレゼンが行われました。各クラスで選ばれた代表者がプレゼンを行い、どのクラスも迫力のある発表でした。どの本もノンフィクションだったのでどれも興味深かったです。読書プレゼンをして読書の楽しさと相手に伝えることの難しさを学ぶ事が出来ました。

栗野遊馬(下妻東部) 柴森佑香(水海道)



読書プレゼンを行った各クラスの代表者たち

読書プレゼンの結果

1位 岡本郁哉(土浦二)
最初のクラス発表では時間が足りず、原稿を八割方作り直して臨んだため、始まる前は不安が大きかったのですが、大人数の前で話すという貴重な機会をもらうことができ、とてもよかったです。

タイトル	組	発表者	出身中学
売れるデザイン発表の色	1	染谷歩里	岩井
才能の発見	2	渡大哉	岩井
時をかけるゆとり	3	岡本郁哉	土浦二
4歳の僕はこうしてアウシュビッツから生還した	4	野澤心映由	谷田部東
暗闇でも走る	5	中山せな	石下西
タイムマシンの作り方	6	櫻井雅大	谷田部東
人生に意味があるか	7	森加寿磨	下館
男道	8	林仙龍	神戸御影
	1	荒井美樹	昭学院
	1	黒木智也	谷田部
	1	菅原日向詩	春日
	2	小張葵	新治
	2	菅谷幸太	水海道西

自然・歴史・文化による活性化プラン

←個人戦でも優勝した2人

2年8組 旭 征哉(下根)左写真上段中央、右写真下
①新メンバーで良いスタートが切れて良かったです。
②日本を目指して頑張ります。
1年8組 村岡 英哉(紀見北)左写真上段左 右写真上段
①ライバル選手が途中で敗れるという運にも恵まれましたが、次はそうはいかないので、もっと実力をつけたいです。
②次の大会は大事な大会なので、絶対に勝てるように頑張ります。

